

ドラゴンクエストというテレビゲームをご存じでしょうか。ロールプレイングゲームというジャンルで、仲間と冒険をするという内容です。冒険の途中には魔物などが登場し、戦いの末に命を落とすこともあります。しかしそんなときには「ふっかつのじゅもん」を唱えると元に戻れるという、便利な機能もあるそうです。

キリスト教信仰の出発点は、「イエス様の復活」だといっても過言ではないでしょう。十字架で死に、墓に葬られたはずのイエス様が鍵の掛けられた部屋に来て、「あなたがたに平和があるように」と語られたこと(ヨハネ 20:19～29)によって、弟子たちは前に進むことができました。

またエマオでの復活のイエス様との出会い(ルカ 24:13～35)も、弟子たちに勇気を与える出来事でした。

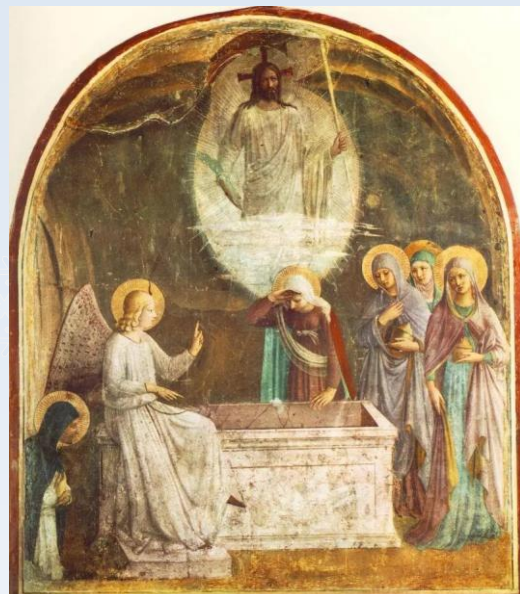
ペトロやパウロは「復活のイエス様との出会い」を土台として、その宣教をおこないます。そしてイエス様の復活は、キリスト教信仰の最も大切なこととして、伝えられていくのです。

聖公会の礼拝の中で聖餐式の中で唱えるニケヤ信経には、このようにあります。「主はわたしたち人類のため…聖書にありとおり三日目によみがえり、天に昇り、父の右に座しておられます」。使徒信経にも「三日目に死人のうちからよみがえり」と書かれています。

そしてこの復活は、イエス様だけではなくわたしたちにも関係する出来事です。将来、最後の審判の前にすべての人が死者の中からよみがえらされると聖書にあります。特にコリントの信徒への手紙一 15章には、詳しく書かれています。

わたしたちもイエス様の復活にあずかる者となりましょう。

次回は「葡萄」です。お楽しみに。



「復活のキリスト墓で女性たちと話す」
フラ・アンジェリコ
(1390～1455年)

イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。」
(ヨハネによる福音書 11章 25節)

